

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 108

平成29年9月号

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力
して設立した研究機関です

〒810-0001

福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6階

TEL : 092-733-5707 FAX : 092-733-5680

e-mail : library@urc.or.jp

タイトルバック：琴性根氏(釜山発展研究院) 撮影

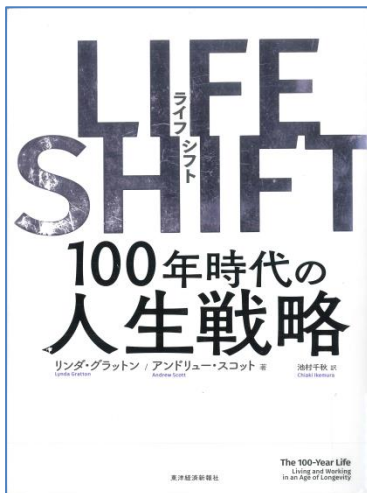
◆URCニュース

①平成29年度・第2回 都市セミナー

『LIFE SHIFT (ライフ シフト)』人生100年時代をどう生きるか

～自分らしいキャリアデザインの描き方～を開催します。

福岡市では、人生 100 年が当たり前となるこれからの時代を見据えて、市民が支え合いながら、誰もが心身ともに健康で幸せに生き続けられる社会を実現するための具体的な 100 のアクションを実践していく「福岡 100」を発表しました。



また、リンダグラットンの大ヒット著書「100年時代の人生戦略(ライフシフト)」では、転身を重ね、複数のキャリアを経験する新しいマルチステージの人生にどうシフトしていくのか。あるときは仕事に集中し、あるときは文化や芸術に身を置くなど、人生のステージを変えていく必

要があるのではないかと説いています。

今回のセミナーでは、福岡を拠点にライフシフトを体現されている方にお話を頂くとともに、当研究所の『市民総支え合い社会』に向けての社会情報基盤整備に関する研究の成果発表も行います。

人生をどう設計し、どう生きるのか。ご自身の人生を考えるきっかけになればと開催するものです。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

セミナーの申込み方法や詳細内容等は、9月15日以降にURCのホームページや告知ちらし、及び市政だより(9月15日号)等でお知らせする予定です。

■日時：平成29年10月19日(木)

14:00～17:00(開場13:30)

■場所：福岡アジア美術館「あじびホール」

(福岡市博多区下川端町3-1)

(山本美香 主任研究員)

*編集後記でも取り上げさせていただきます。

②マレーシア・クアラルンプール市にて研究報告を行いました！！

8月10日、マレーシア・クアラルンプール市において、マレーシア不動産・住宅開発協会、マレーシア建築家協会、マレーシア都市計画家協会の共同主催、クアラルンプール市政府後援による国際会議 WORLD CLASS SUSTAINABLE CITIES 2017にて研究報告およびパネルディスカッションを行ってきました。本国際会議は、世界各地における先進的な SUSTAINABLE CITY(持続都市)の取り組みについて、現地の専門家を招待して学ぶことを趣旨に2009年より毎年開催されています。これまで本国際会議にて報告された多くの事例がすでにクアラ

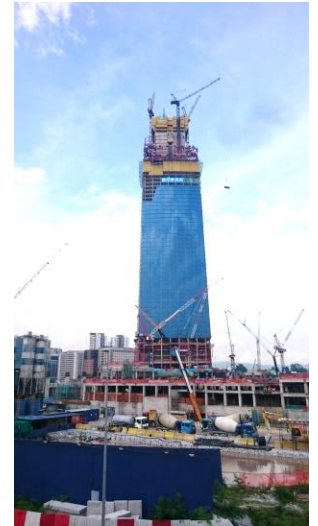




Lumpur市の都市政策に反映されていると担当の方から伺いました。第9回目となった今回の国際会議は、TRANSFORMING CITIES : DESIGN, NATURE AND HUMAN LIVESを副題とし、コペンハーゲン、トロント、シドニー、そして福岡から私を含む4名が招聘され、各地での持続都市に向けた取り組みや課題について報告が行われました。(詳しい内容は

<https://www.facebook.com/WCSC-Malaysia-138522652856621>
 / をご参照ください)

およそ20年ぶりに訪れたクアラルンプールは、都心部の至るところで再開発が進行し、アジアでのビジネス・ハブを目指した都市整備の熱気を帯びていました。とりわけ、市内の多くの工事現場では、中国語による建築主や工事業者の看板が掲げられ、中国経済の影響を感じずにはいられませんでした。中国の新興都市と同様に、クアラルンプールもスプロールが進行しています。公共交通の整備が追いつかない状況のなかで、職住近接をともなう都心部の再開発は持続的な都市づくりの一環として捉えられ、世界の事例をお手本とした整備が進められている模様でした。



写真撮影及び記事執筆 久保隆行 主席主任研究員・情報戦略室長

③日韓海峡圏研究機関協議会 2017年度 定期総会研究報告会に参加しました！



九州北部と韓国南部の日韓の海峡を挟む地域の発展や相互理解に寄与することを目的とする第24回「日韓海峡圏研究機関協議会・研究報告会」が、8月30日から2日間、佐賀県嬉野市で開催されました。

初日の定期総会では、2017年度事業計画の承認と、役員機関の選出が実施され、佐賀大学・慶南発展研究院がそれぞれ会長と副会長機関に選出されました。副会長機関の地域で総会が開催される慣例により、来年度の定期総会は10月中旬に韓国慶尚南道の統営(トンヨン)市または巨済(ゴジエ)市での開催となります。2017年度の研究大テーマは「人口問題と地域活性化Ⅱ」が採択されました。

翌日午前中の研究報告会では、「人口問題と地域活性化」をテーマに研究発表及び討論が2つのセッションで行われました。

セッションⅠでは、「持続可能な地域(村)共同体の育成方法(申東勳責任研究委員、光州全南研究院)」「慶南少子化政策の実効性を高めるための自治体の管理方

法(沈仁善社会政策研究室長、慶南発展研究院)」「蔚山都市再生事業と活性化方案(權泰穆副研究委員、蔚山発展研究院)」の韓国側の発表がありました。

次のセッションⅡでは、「離島における地域振興の取り組み—国境の島・対馬を事例に—(杉本土郎主任研究員、長崎経済研究所)」「人口減少社会における小規模離島集落の持続的条件—佐賀県肥前町向島を事例に—(五十嵐勉教授、佐賀大学)」「市民総支え合い社会に向けての社会情報基盤整備に関する研究(柳基憲研究主査、URC)」の3つのテーマで日本側の発表が続きました。

蔚山発展研究院の発表「蔚山都市再生事業と活性化方案」に対し、指定討論者として登壇されたURCの岡田允特別研究員は、「蔚山広域市の都市再生活活性化地区の再生のための経済的価値はどこから発生すると想定されているのか」と質問され、活発な意見交換が行われました。



また研究報告会の後には、佐賀県庁・地元自治体関係者の案内で「嬉茶楽館」「泉山磁石場」「陶山神社」「李参平碑」などを視察しました。

2 日間という短い期間ではありましたが、今年も研究機関関係者同士の有意義な時間を過ごす事ができました。佐賀大学・佐賀県庁・地元自治体の関係者の皆様に

は、深くお礼申し上げます。

写真出典：URC 撮影(柳基憲 研究主査)

④国際研修受け入れ報告

2017 年 8 月の視察研修は、「光州（グァンジュ）市議会」と「嶺南（ヨンナン）大学」の 2 団体が、先進事例を調査するため韓国から来福しました。光州（グァンジュ）市議会視察団は、ごみ処理及び福祉に関する福岡市の取組みについて学ぶため、クリーンパーク臨海工場及び福岡市市民福祉プラザを視察しました。



光州市議会の福岡市市民福祉プラザ訪問



光州市議会の福祉用具展示場訪問

また、嶺南（ヨンナン）大学視察団は、福岡市市民福祉プラザの視察を通して、数多い福祉用具や高齢者のためのサービス内容について学びました。

それぞれの視察団からは、「先進的な取り組みについて学んで有益だった。」「また福岡に学びに来たい。」「親切な説明に感謝する」などの感想がありました。

写真出典：URC 撮影(李英雄 国際視察研修担当)

URCメディア紹介情報ー最近1か月の情報を中心にー

◎新聞

(2017/9/1 西日本新聞 朝刊 14p)

「地域と美術のすきまのやもり」46 メディアガーデン

市民研究員 OB 藤浩志さんの連載記事(☆印＝以下同じ)

(2017/9/1 西日本新聞 朝刊 33p)

博多陥没再掘削「地中から」検討 福岡市専門委が一致

橋本武前理事長が市営地下鉄七隈線「建設技術専門委員会」委員長としてコメント(@印＝以下同じ)

(2017/9/1 毎日新聞 朝刊 23p)

七隈線「非開削工法」を検討 再掘削で市の技術専門委 @

(2017/9/1 読売新聞 朝刊 29p)

博多陥没 ボーリング調査10月終了 福岡市、専門委で見通し @

(2017/8/31 西日本新聞 朝刊 14p)

「地域と美術のすきまのやもり」45 東京脱出

(2017/8/30 西日本新聞 朝刊 15p)

「地域と美術のすきまのやもり」44 2025 蛙の池シンポジウム

(2017/8/29 西日本新聞 朝刊 20p)

「地域と美術のすきまのやもり」43 発見!33 年後に 85 億! ☆

(2017/8/28 西日本新聞 朝刊 11p)

「地域と美術のすきまのやもり」42 時間の質が絶望をカエル☆

(2017/8/25 西日本新聞 朝刊 13p)

「地域と美術のすきまのやもり」41 見えてないはずの記憶 ☆

(2017/8/24 西日本新聞 朝刊 15p)

「地域と美術のすきまのやもり」40 現実とは熱く広く果てしない☆

(2017/8/24 西日本新聞 筑豊版 朝刊 25p)

創業支援の拠点 田川に 3者連携 教育プログラムなど実施
音楽や映像作成、ビジネス後押し

FDC が田川市などとの業務連携に参画(*印＝以下同じ)

(2017/8/23 西日本新聞 朝刊 13p)

「地域と美術のすきまのやもり」39 砂漠に湖の絵をかく ☆

(2017/8/22 西日本新聞 朝刊 11p)

「地域と美術のすきまのやもり」38 縁の連鎖が活動を救う☆

(2017/8/21 西日本新聞 朝刊 9p)

「地域と美術のすきまのやもり」37 お米の砂漠の風景☆

(2017/8/18 西日本新聞 朝刊 13p)

「地域と美術のすきまのやもり」36 食うために働く? ☆

(2017/8/18 西日本新聞 朝刊 12p)

紅皿 教科書を読む

藤浩志さんの 7/31 掲載の連載記事が引用される。

(2017/8/18 読売新聞 大分版 朝刊 22p)

アジア都市景観賞 昭和の町が受賞＝大分

(@印＝以下アジア都市景観賞関連記事)

(2017/8/17 西日本新聞 朝刊 11p)

「地域と美術のすきまのやもり」35 家を彫刻する ☆

(2017/8/16 朝日新聞 福岡県版 朝刊 17p)

新しい産業創出へスクラム 旧校舎改造の施設拠点に 田川市

など3者 *

(2017/8/16 西日本新聞 朝刊 14p)

「地域と美術のすきまのやもり」34 給料をもらいつつ素材を学ぶ ☆

(2017/8/15 西日本新聞 朝刊 10p)

「地域と美術のすきまのやもり」33 イメージが命を救う ☆

(2017/8/14 西日本新聞 朝刊 10p)

「地域と美術のすきまのやもり」32 語りと記録が記憶を作る ☆

(2017/8/12 観光経済新聞 10p)

草津温泉 厳かに温泉感謝祭 懇親会には知事が出席 @

(2017/8/12 読売新聞 東京版 夕刊 9p)

美術家自身が展示企画 表現多様化 広がる役割

市民研究員 OB 藤浩志さんの活動が紹介される。

(2017/8/11 西日本新聞 朝刊 13p)

「地域と美術のすきまのやもり」31 美の象徴としての瘦せ犬 ☆

(2017/8/10 西日本新聞 朝刊 17p)

「地域と美術のすきまのやもり」30 平面の概念がない ☆

(2017/8/9 西日本新聞 朝刊 14p)

「地域と美術のすきまのやもり」29 記号のない世界 ☆

(2017/8/8 西日本新聞 朝刊 14p)

「地域と美術のすきまのやもり」28 画用紙に人は入らない ☆

(2017/8/7 西日本新聞 朝刊 9p)

「地域と美術のすきまのやもり」27 色がなかったところ ☆

(2017/8/4 西日本新聞 朝刊 13p)

「地域と美術のすきまのやもり」26 パプアニューギニアの常識 ☆

(2017/8/3 西日本新聞 朝刊 11p)

「地域と美術のすきまのやもり」25 成長し続けることへの疑問 ☆

(2017/8/2 西日本新聞 朝刊 15p)

「地域と美術のすきまのやもり」24 時間を遡る手段の発見 ☆

◎雑誌

(2017/8/1 月刊廃棄物 2017年8月号 表紙)

「海亀」制作年 2002 素材 PET ボトル

市民研究員 OB 藤浩志さんの廃棄物を利用した作品が採用される。毎号作品を変えて、来年3月まで掲載予定

これまでの掲載作品

4月号「トイザウルスの棲む島」、2010年、おもちゃの廃品素材等

5月号「トイザウルス BG4000」、2010年、おもちゃの廃品素材等

6月号「Kaeru Party」、2012年、メルボルンアートセンターから廃棄される1年分のバックライト紙他

7月号「PET Dragon」、2009年、PETボトル

◎ラジオ

(2017/8 毎週金曜日 ローカルラジオ放送コミュニティラジオ天神(コミてん)18:00~18:25)

スポガで Ready Bowl!! 市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。

編集後記：去年10月、発売と同時に購入した「100年時代の人生戦略（ライフシフト）」ですが、今回、都市セミナーとして開催できることは、司書としてとても嬉しいものです。この本は、発売以来いたるところで話題になり、週刊東洋経済の本年7月22日号では「LIFE SHIFT 実践編－日本人のための100年人生マニュアル」が特集されました。図書・雑誌、どちらもお勧めします。

人生100年と言えば、高齢者の話のようですが、これからの長い人生を生きる若い人にこそ聞いていただきたいテーマです。

これからの人生は、これまでの学習(学校)～就職～退職後(年金生活)の3段階では終わらなくなっています。技術の進歩は、常に職業を淘汰しています。数年後亡くなる仕事のリストも流行っています。たとえば、この30年間の情報化の進展、ワープロの普及は写植の仕事を奪ってしまいました。技術の進化に伴い、自分のスキルを常に時代の要求に合わせて柔軟に高めていかなければならないのです。

老後の資金も心配です。働く人が高齢者を支える現在の年金制度は、高齢者の急増、非正規職の定着等によって破綻するのが目に見えています。年金制度の破たんは、労働者として長い現役時代を送らなければならないという現実でもあります。

このような時代をどう生きるか、若い今こそ準備が必要です。今回の都市セミナーで長寿時代を豊かに、幸せに生きるためのヒントを掴み取っていただきたいものです。

URC ニュース③でお知らせしている日韓海峡圏研究機関協議会 2017年度 定期総会研究報告会で配布された「海峡圏研究 第17号」は、研究報告会で発表された詳しい論文が掲載されていますので、どうぞお読みください。

また、賛助会員の八尋國臣さんが昨年12月17日に県立図書館で発表された「福岡市政の思い出」のなかから「明治百年」にあたっての記念事業を取りまとめた記事が「福岡地方史研究第55号」に掲載されました。この度、ご本人から抜刷をいただきましたので資料室で受け入れています。今年は、明治150年だそうです。

「漫画・イラスト世界公募2017」の作品展は9月1日をもって終了いたしました。貴重な受賞作品をお貸しくださいました一般社団法人まんがコンテンツ振興機構（通称、まんがしーぼ）さんに心から御礼申し上げます。都市政策資料室では、新しい展示を準備中です。どうぞお楽しみに・・・(崎)